

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro大津		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しめるようなイベントの作成を行っている。	5領域に基づきながら、運動やコミュニケーションを交えたゲーム形式のイベントを行い発達支援を行っている。	子どもたちに希望を確認したり、スタッフを当番制にすることで、様々なイベントが考案できるよう調整する。
2	子どもたちの普段の利用の様子や、ご家族様とのモニタリング面談、申し送り時などで密にコミュニケーションを行い、各家庭と協力しながら支援を行っている。	子どもたちの支援中に気になったことをわかりやすくお話することで、ご家族が教室に来られなくても利用の様子がわかるようにしている。	ご家族に実際に事業所に来てもらい、児童が支援を受けている様子を見ていただきながら情報の共有、相談等を行っている。
3	他の事業所に比べ、在籍している職員が多く、人手的に手厚く支援を行える、安全面に配慮できる。	マンツーマンで支援が必要な児童が複数人利用される状態でも職員が合わせて配置できるので、外出イベント等を安心して企画、実行できる。	職員一人ひとりが支援について学ぶことでより支援が必要な児童も利用受け入れができる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童支援について、統一が難しい。	児童支援について事業所で話し合う機会が少ない。	積極的に事業所内のサービス担当者会議の開催し、細かい頻度で支援方針を立てていくことを目指す。
2	ご家族が実際に支援中の様子を見てもらう機会が少ない。	モニタリングや事業所への送迎時を除き、事業所に訪れる動機がない。	家族会の開催や、ご家族も参加できるイベントを考案し実際に事業所に来ていただける環境づくりを行う。
3	・地域との交流が少ない。	・行事などを通じた、地域と交流する機会を得られていない。	・地域の相談会やお祭りに児童やスタッフが参加し、児童たちが暮らす地域からの支援効果に期待する。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		toiro大津		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	5	・児童が自分の居場所を確保できるよう、支援室には最小限のものだけ置いている。	・児童から時折狭いと言われる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	5	・利用申し込み数に応じて、適宜必要な勤務調整を行っている。	・児童によっては必要だと感じる日もある。 ・一人ひとりに合わせたゆとりある支援ができていないと感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		・トイレ、階段に手すりがある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	2	・ご利用いただくにあたり修繕が必要な箇所が生じたら、都度本社と連絡をとりながら修正を行っている。	・清掃が不十分に感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	3	・1月より管理者が変わり、各職員が行う業務の明確化、支援内容等の振り返りを業務の一環として行っている。	・目標や振り返りが見られない。 ・組織としては見られない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	3	・可能な限り職員たちの意見が反映された計画書の作成を行うよう、積極的な話し合いの開催を管理者より促していく。	・児発管が個人で決めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		・児童発達支援管理責任者より指導を行い、支援においての記録の重要性、記載方法を指導します。	・記録の内容が薄いと感じる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	3		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	3		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	4		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	6		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	3		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	8	SV巡回訪問の予定あり	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	9		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	3		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	4		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	8		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1			